



会社説明会 個人投資家の皆様へ

株式会社丸山製作所

2019年4月19日

代表取締役社長 尾頭 正伸

東証一部 6316

1 120年以上の歴史

- ・ポンプ・エンジンをコアテクノロジーとして発展

2 成長事業の創出

- ・スマート農業
- ・高圧ポンプ技術
- ・海外展開

3 安定的な配当

◆会社概要	P. 3
◆2018年9月期 業績概要	P. 17
◆丸山グループ中期経営計画	
1) 中期経営計画 概要	P. 21
2) 2019年9月期 業績予想	P. 29

会社概要

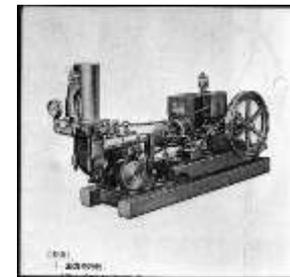
会社概要 (2018年9月30日現在)

社名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 尾頭正伸
本社	〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目4番15号
創業・設立	【創業】 1895年 【設立】 1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	354億58百万円 (2018年9月期)
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	【単体】 571名 【連結】 952名
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	http://www.maruyama.co.jp/

- 1895年 新潟県高田町にて丸山商会を創業
(日本で初めて消火器を製造)
- 1918年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年 工業用ポンプを開発
- 1977年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年 オリジナル2サイクルエンジン開発
- 2000年 新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004年 消火剤リサイクル・・・ eco消火器を販売
- 2012年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2015年 創業120周年
- 2016年 マルチローター(ドローン)の開発
- 2018年 ハイクリブーム発売30周年を迎える



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム



農林業機械分野 >



防災関連分野 >



産業機械分野 >

農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品

チェーンソー



マルチローター



刈払機



高圧洗浄機



消火器



ステレオスプレーヤ



ハイクリboom



カーウォッシャー



車両消毒装置



コンベア洗浄装置



ポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。
製品の動力源であり、心臓部となるポンプ・エンジンを自社生産し、世の中の食料と水不足問題の解決に貢献しています。

ポンプ & エンジン



工業用 (ポンプ)



スパウダーよる消臭作業



テーマパークで使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水RO

農業用 (ポンプ)



北京オリンピックでの消毒作業



牛舎での消毒作業



背負動力噴霧機
【畑・ビニールハウス】



スピードスプレーヤ
【果樹園】



ハイクリboom
【田・畑】



マルチローター
【中山間地】

農業用（エンジン）



刈払機
【庭園】



ブロワー
【公園】



ヘッジトリマー
【庭園】



チェーンソー
【山林】



背負動力噴霧機
【畑】

国内で

トップシェアを獲得



-農業用防除機(ポンプ製品)-

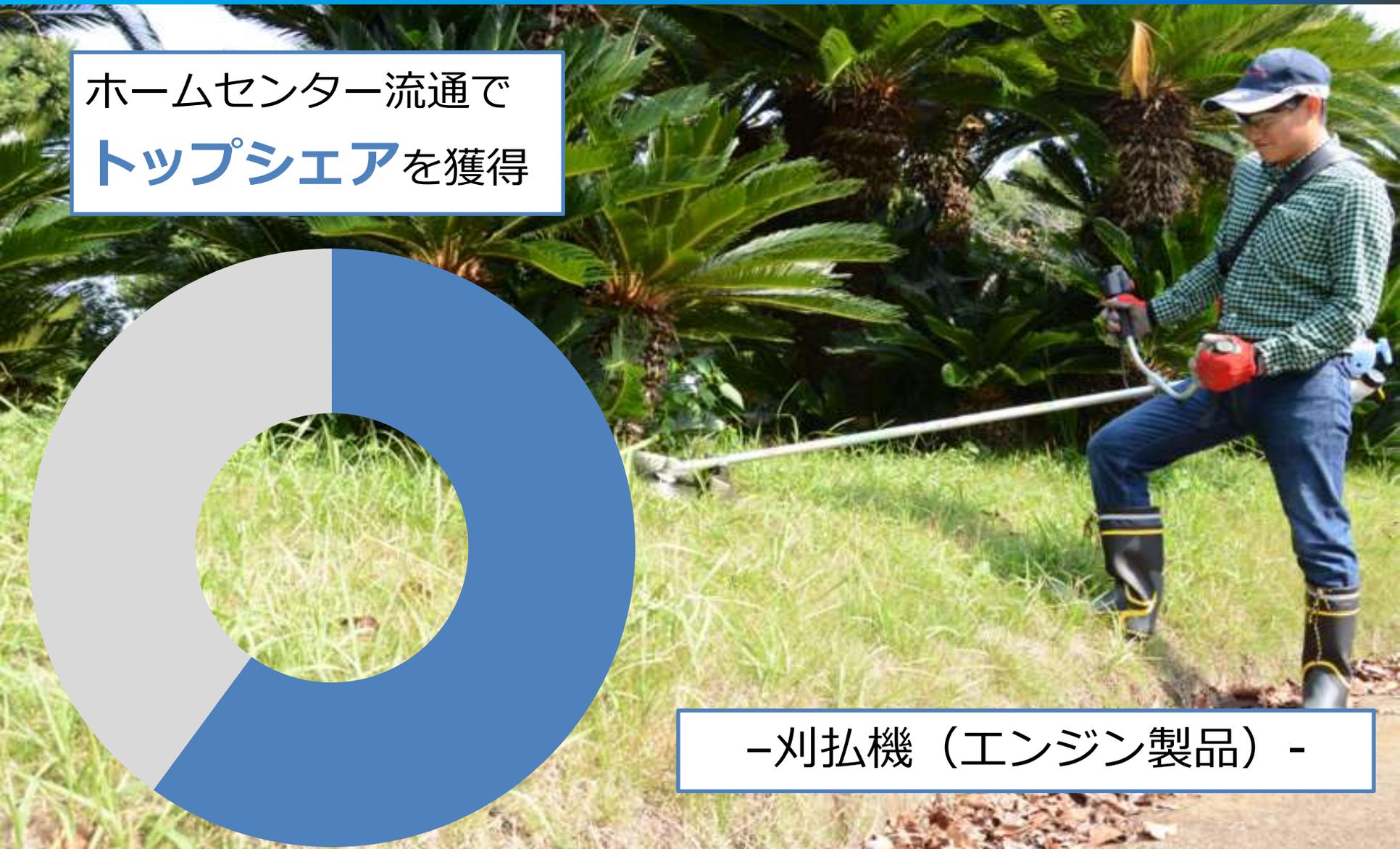


シェアNo.1

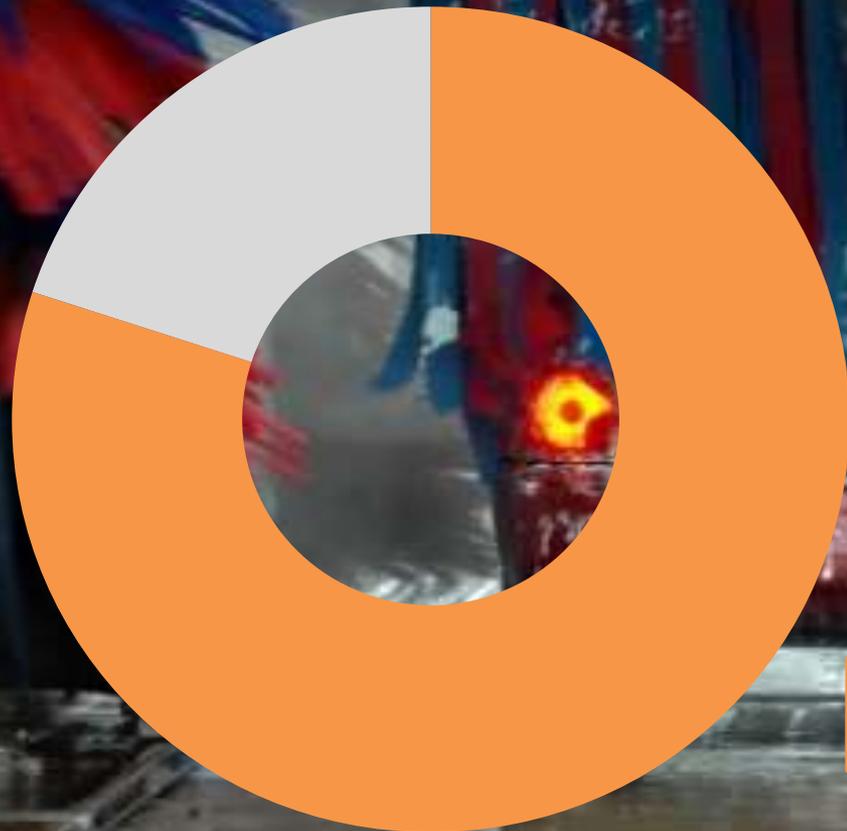
ホームセンター流通で
トップシェアを獲得



-刈払機（エンジン製品）-



海外（北米）で
トップシェアを獲得



-カーウォッシュ用ポンプ-

国内の販売・生産・サービス拠点



物流拠点 (福島)



千葉工場 (東京ドーム3個分の敷地)



西部丸山(岡山)



本社

東京都千代田区

生産拠点

3ヶ所

千葉県東金市 (2ヶ所)
岡山県苫田郡

営業拠点

全国26ヶ所

北海道(札幌・帯広) / 青森 / 岩手 / 秋田 / 山形 / 宮城 / 福島 / 茨城 / 栃木 / 千葉 / 東京 / 新潟 / 長野 / 山梨 / 石川 / 愛知 / 静岡 / 大阪 / 広島 / 岡山 / 香川 / 福岡 / 熊本 / 鹿児島 / 宮崎

物流拠点

3ヶ所

福島県・千葉県・岡山県

関係会社

日本ライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社

海外の販売・生産拠点



● MARUYAMA MFG EUROPE OFFICE

- ・ 欧州における市場調査
- ・ 林業用機械の販売促進

- ・ 中国市場向けに農林業用機械の販売

● 丸山（上海）貿易有限公司

● MARUYAMA MFG (THAILAND) CO.,LTD. ASIAN MARUYAMA(THAILAND)CO.,LTD.

- ・ 農林業用機械の製造・販売
- ・ 東南アジア市場向けを中心に販売



● MARUYAMA U.S.,INC.

- ・ 北米を中心に農林業用機械を販売

業績概要

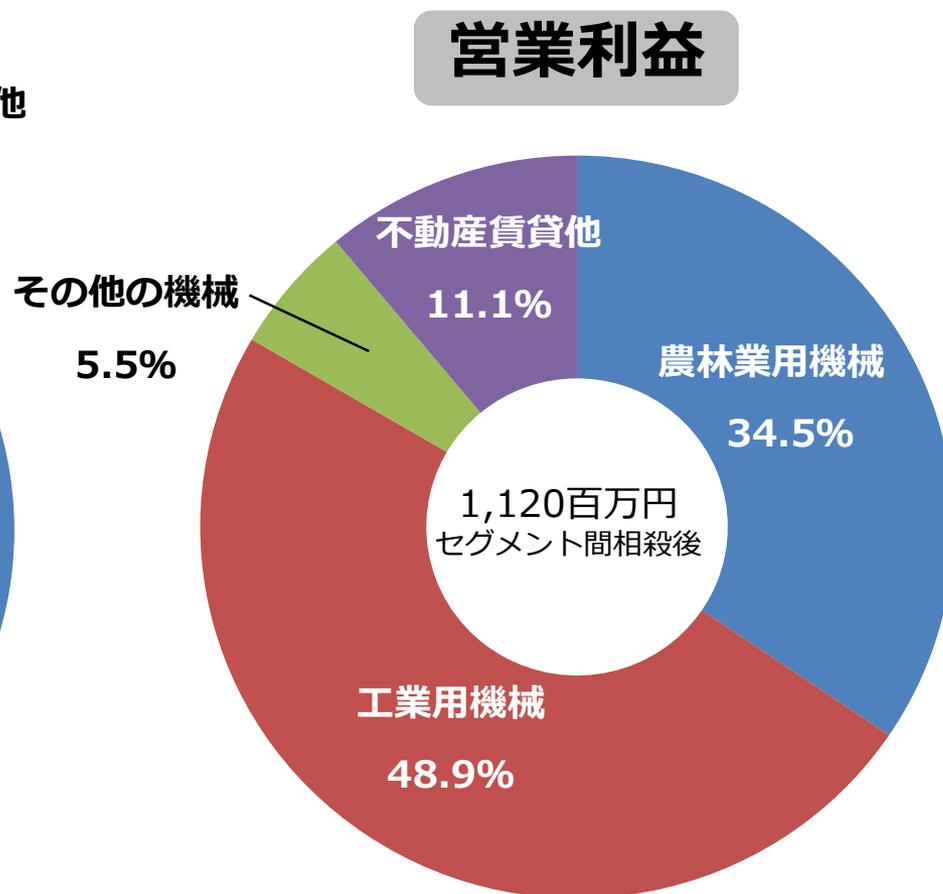
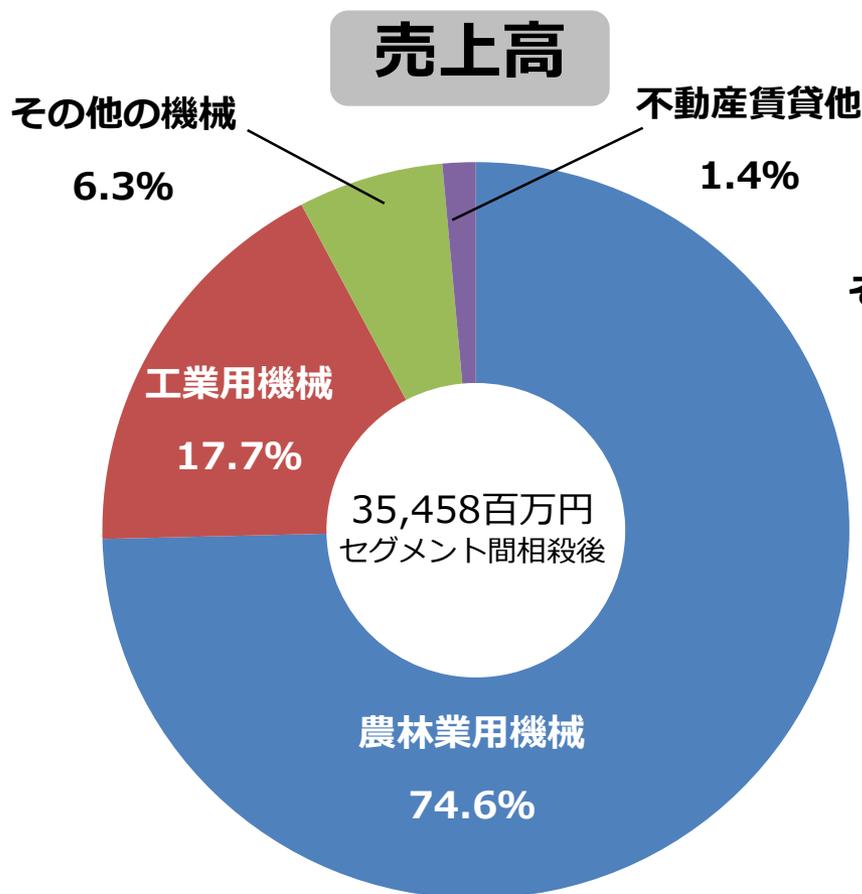
(2017年10月1日～2018年9月30日)

2018年9月期 業績概要

単位： 百万円	2017年9月期 実績		2018年9月期					
			当初予想		実績			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比	予想比
売上高	35,508	100.0%	36,500	100.0%	35,458	100.0%	△0.1%	△2.9%
営業利益	973	2.7%	1,100	3.0%	1,120	3.2%	15.2%	1.9%
経常利益	1,036	2.9%	1,050	2.9%	1,105	3.1%	6.7%	5.3%
当期純利益	750	2.1%	700	1.9%	679	1.9%	△9.5%	△2.9%
為替レート 米ドル			110円		109円			
為替レート ユーロ			125円		130円			

セグメント別実績占率（2018年9月期）

林業機械の減少により農林業機械の売上が伸び悩んだものの、工業用ポンプおよび消防機械等の売上増加、営業利益が大幅増

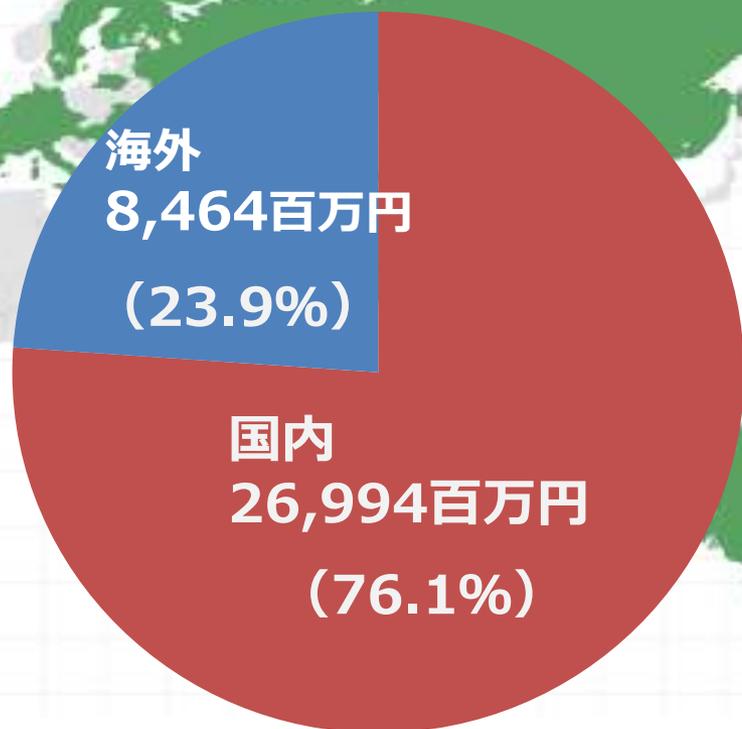


※占率はセグメント間相殺前

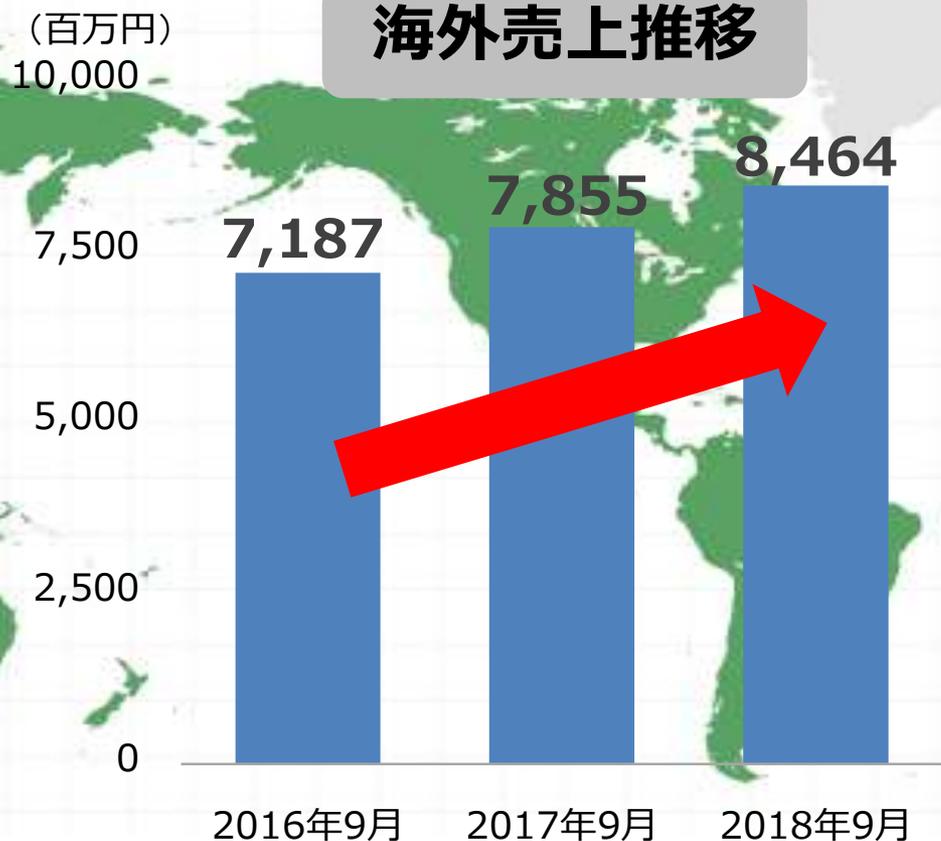
売上高の海外構成比（2018年9月期）

売上高の約8割が国内であるが、
海外の売上高は続伸傾向

売上高構成



海外売上推移

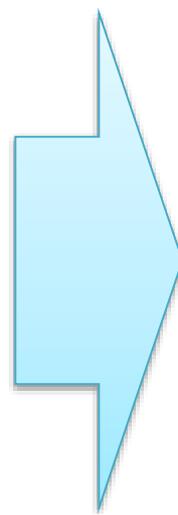


丸山グループ中期経営計画 (2017年9月期～2019年9月期)

収益力

1. 財務体質の強化
 - ・在庫の削減
 - ・購買力の強化
2. 成長事業の創出
 - ・ポンプ事業をコア
 - ・サービス事業の拡大

経営数値目標 (2019年9月期)



売上高	37,000百万円
営業利益	1,200百万円
ROE	5.0%以上

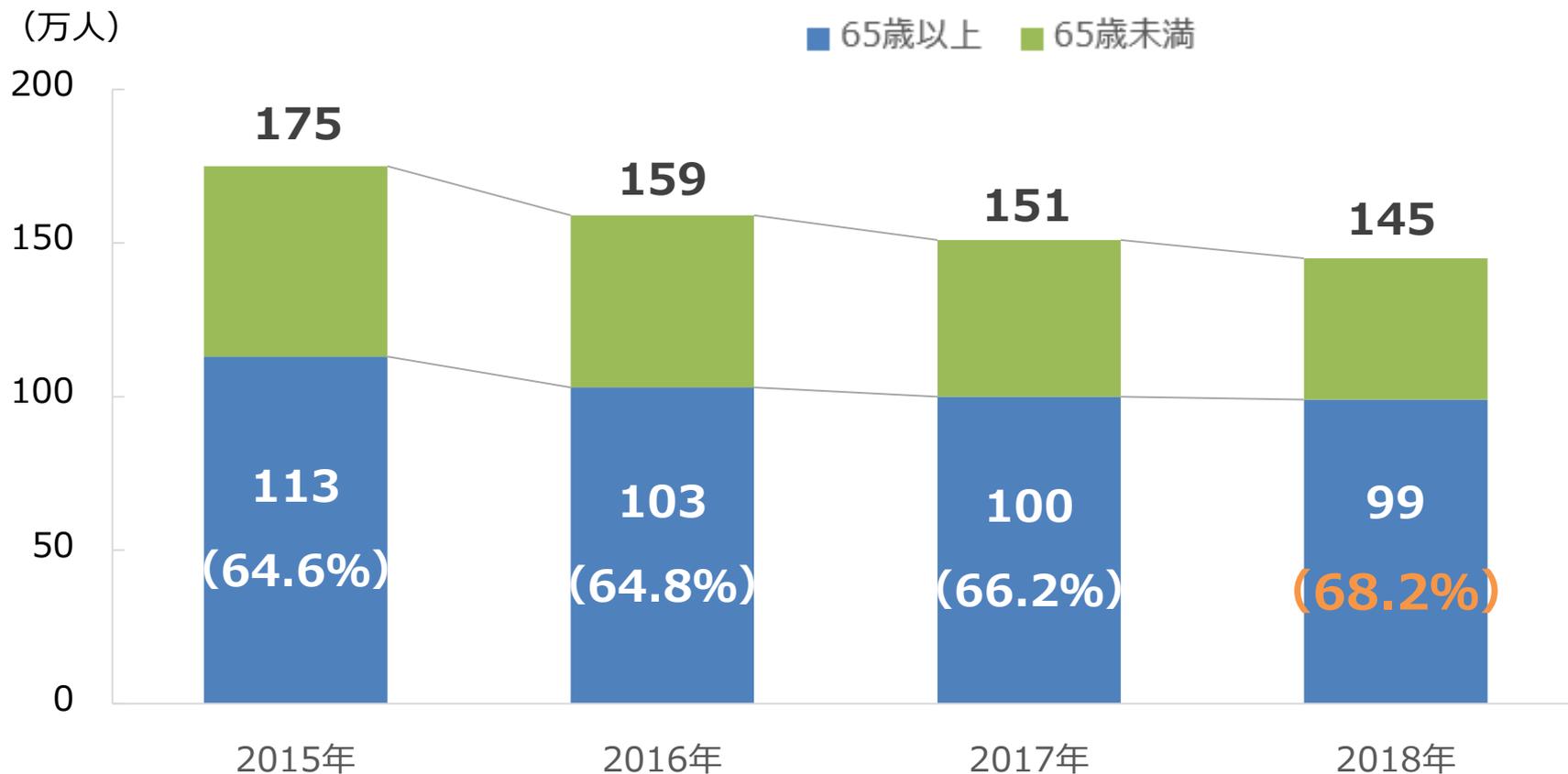


スマート農業

ロボット技術やIOTを活用して
省力化・高品質生産を実現する新たな農業

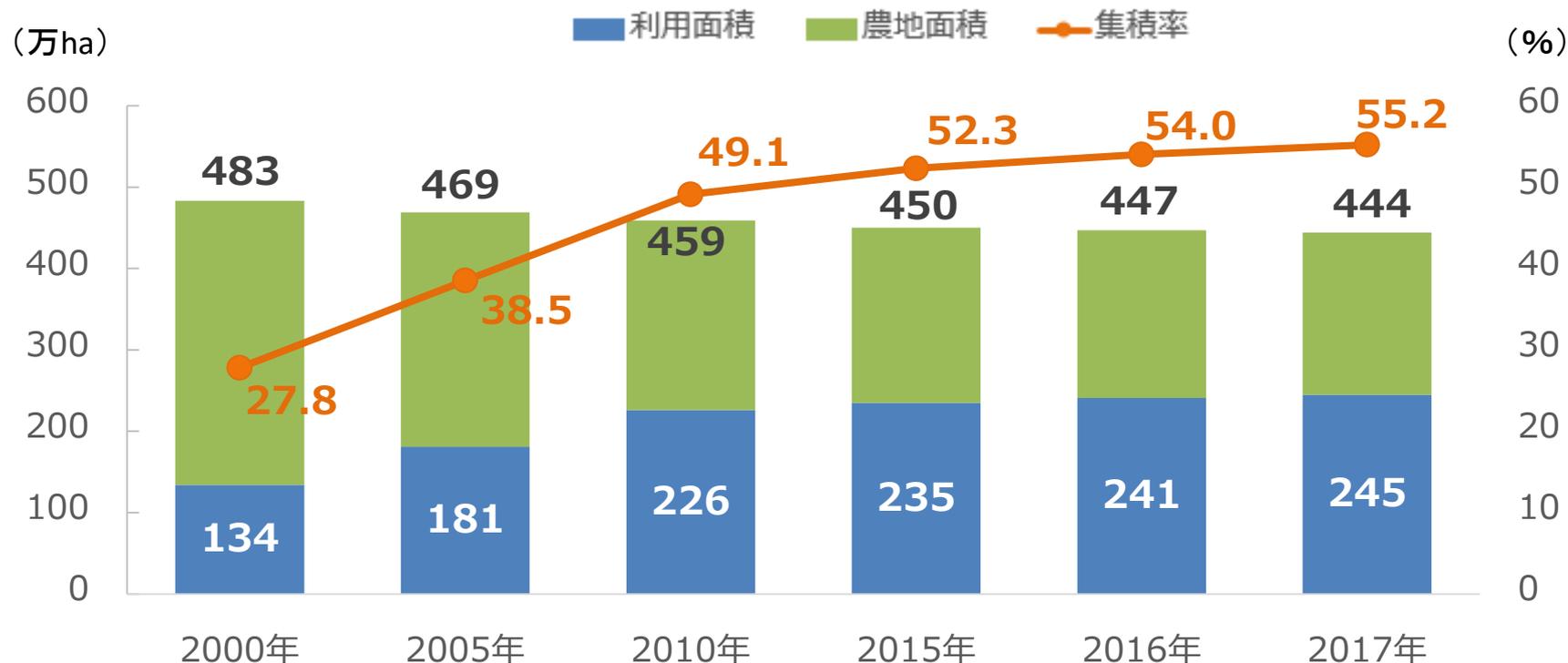
農業従事者の高齢化と減少

高齢化が一層進行し、農業従事者が大幅に減少



農地利用集積率の増加

高齢化が進む中、農地面積に占める担い手の利用面積が増加



※担い手の利用面積とは、認定農業者、市町村基本構想の水準到達者、集落営農経営が経営する面積

ドローン

中山間地防除の**省力化**を実現
無人ヘリ防除ができなかった場所でも使用可能
各種センサーで位置や高さを保持



シャトルスプレーカ

ハウス内の畝間や通路を**自動往復走行**
ホースを引く作業から開放され、軽作業化、省力化を実現
散布ムラがなく、ハウス内を均一に防除



ハイクリブーム

走行速度に応じて**自動調圧散布**
GPSアンテナにより最適な走行経路をアニメーションで表示
高効率、高精度な薬剤散布を実現



ミスト装置

- ・ 熱中症対策や粉塵防止を目的に、商業・工業施設や公園、学校、牛舎など幅広い施設で利用可能



鈴鹿サーキット様



神奈川県川崎市 学校法人丸山学園丸山幼稚園様



MUM602

シェールオイル

- ・ シェールオイルの採掘やRO装置に対応した高圧・高水量ポンプを開発



MODEL7CP6160

バッテリー

- ・ エンジンよりも簡単操作で始動可能



KDC1825Li



MSB1500Li

海外製品

- ・ 現地で必要とされる性能・品質・耐久性の追求
- ・ 拡充したタイ工場の活用

サトウキビ畑への導入
(フィリピン)



BSM201

インド市場へ水田向け
ハイクリブームを導入



BSA600LEQ-IN

2019年9月期 業績予想

- ・ 成熟市場の国内では新製品投入で市場の活性化を図り、前期同水準を確保
- ・ 海外においてはヨーロッパ・アジアを中心に積極的に新規開拓を進めていく

単位：百万円	2018年9月期 実績		2019年9月期 予想		
	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比
売上高	35,458	100.0%	37,000	100%	4.3%
営業利益	1,120	3.2%	1,200	3.2%	7.1%
経常利益	1,105	3.1%	1,100	3.0%	△0.5%
当期純利益	679	1.9%	700	1.9%	3.0%
為替レート 米ドル	109		110		
為替レート ユーロ	130		125		

農業活性化への取組み

農業女子と企業を結びつけることで農業の活性化を図る 農林水産省主催「農業女子プロジェクト」に2013年から参画

女子目線でバッテリー噴霧機を共同開発
-農業女子PJコラボ第二弾-



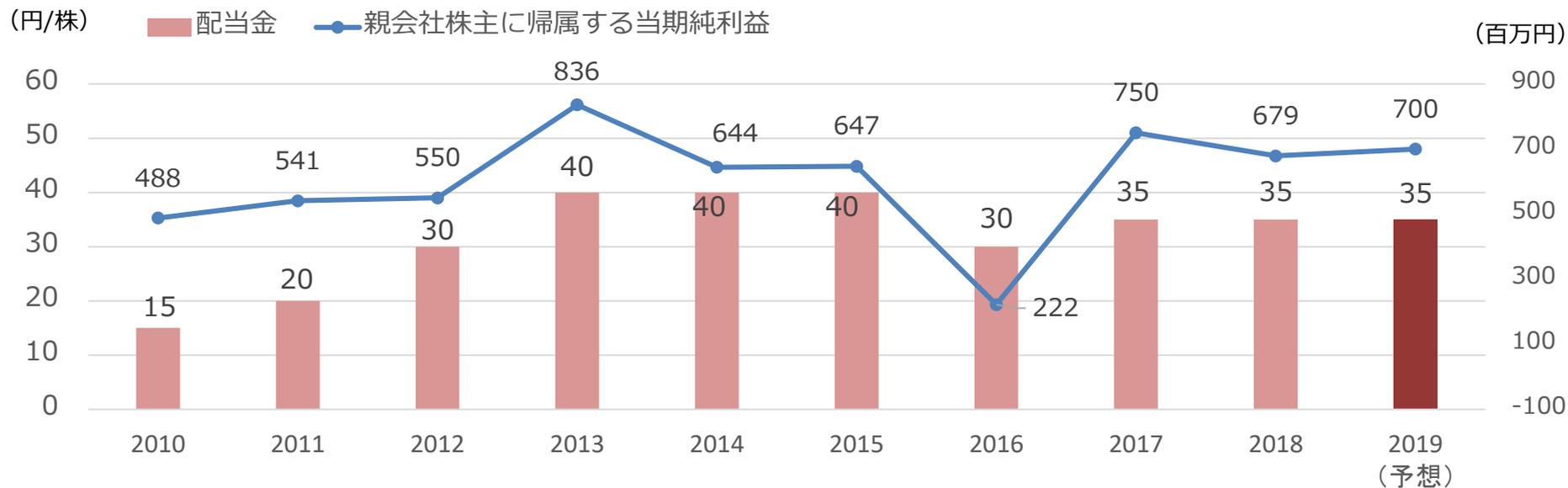
日本農業新聞に掲載
-業界最前線 女性向け農機-



日本農業新聞様



- ・ 安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。
- ・ 当期の配当予想額は前期と同じ1株につき35円

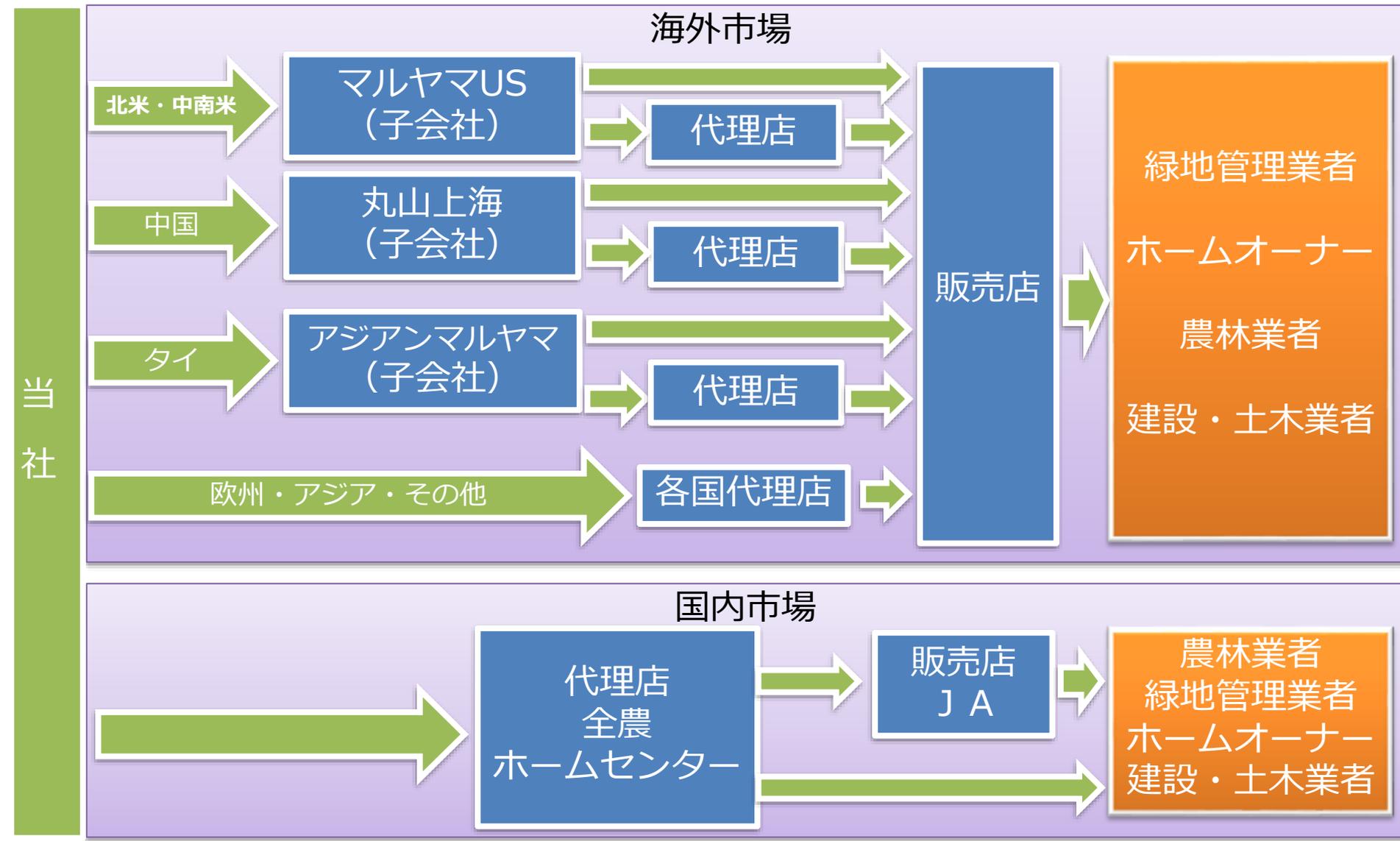


	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019 (予想)
配当性向	15.3%	18.4%	27.0%	23.6%	30.5%	30.3%	66.1%	22.9%	25.1%	24.3%

※2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

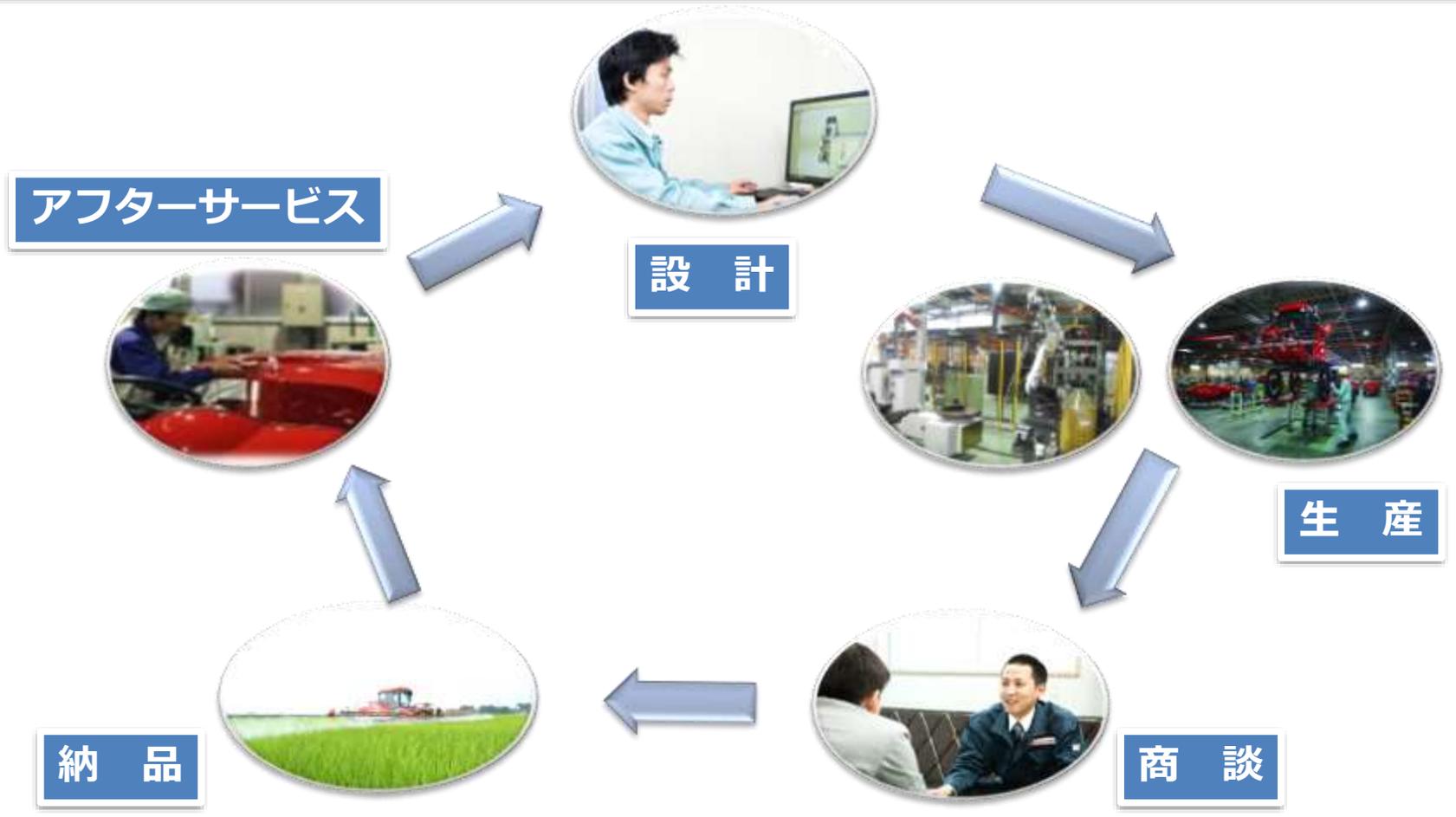
参 考 资 料

主な販売経路



当社の強み（生産体制）

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております



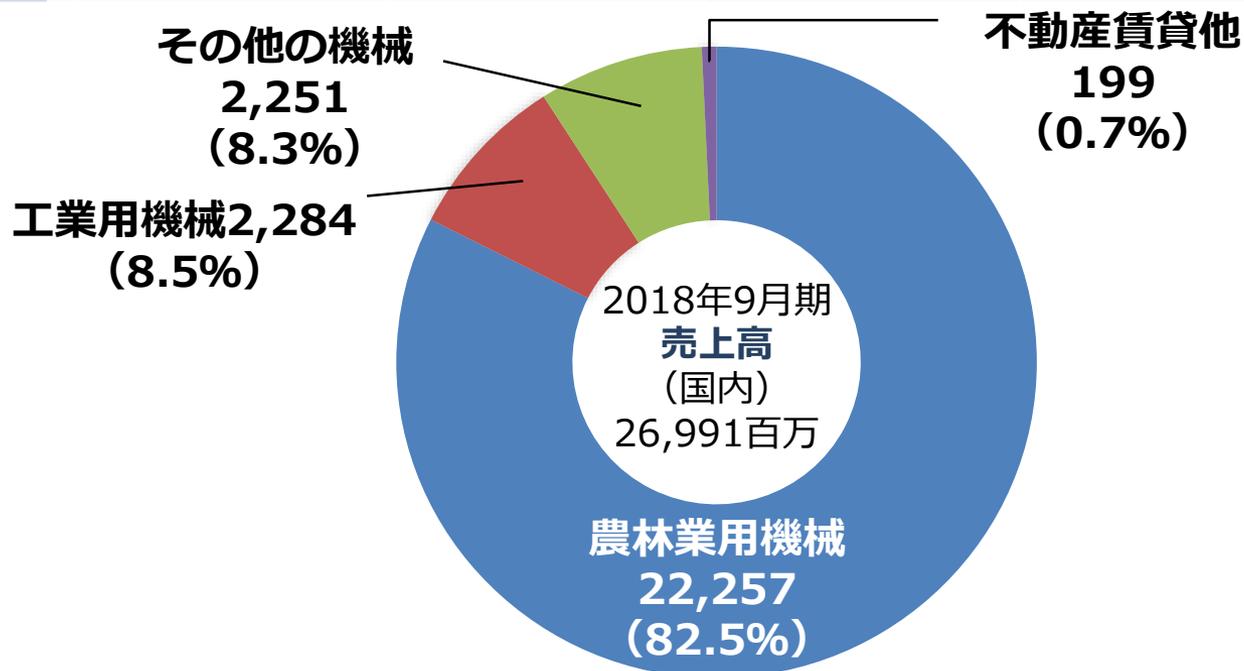
セグメント別業績概要

林業機械の減少により農林業機械の売上が伸び悩んだものの、工業用ポンプおよび消防機械等の売上増加、営業利益が大幅増

単位： 百万円	2017年9月期			2018年9月期					
	売上高	売上高比	営業利益	売上高	売上高比	前期比	営業利益	前期比	変動要因
農林業用機械	27,683	78.0%	1,211	26,693	75.3%	△3.6%	917	△24.2%	国内：林業機械の減少 海外：林業機械の減少
工業用機械	5,390	15.2%	979	6,313	17.8%	17.1%	1,302	32.9%	国内：工業用ポンプの増加 海外：工業用ポンプの増加
その他の機械	2,234	6.3%	85	2,252	6.4%	0.8%	147	73.1%	消防機械等の増加
不動産賃貸他	514	1.4%	295	513	1.4%	△0.4%	294	△0.3%	
調整額 (セグメント 間取引)	△315	△0.9%	△1,597	△313	△0.9%	-	△1,541	-	
合計 (うち海外)	35,508 (7,855)	100.0% (22.1)	973	35,458 (8,464)	100.0% (23.9)	△0.1% (7.8)	1,120	15.2%	

セグメント別売上高（国内）

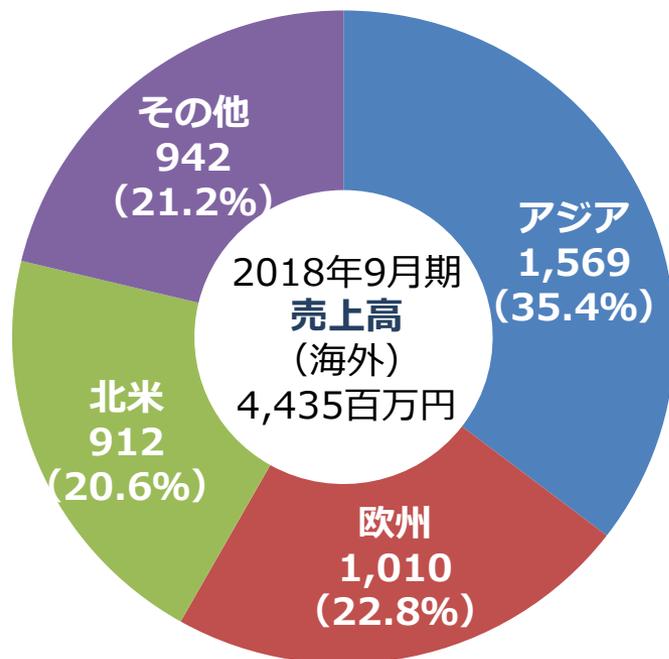
単位：百万円	2017年9月期		2018年9月期		
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	前期比
農林業用機械	23,094	83.5%	22,257	82.5%	△3.6%
工業用機械	2,126	7.7%	2,284	8.5%	7.5%
その他の機械	2,232	8.1%	2,251	8.3%	0.9%
不動産賃貸他	199	0.7%	199	0.7%	△0.2%



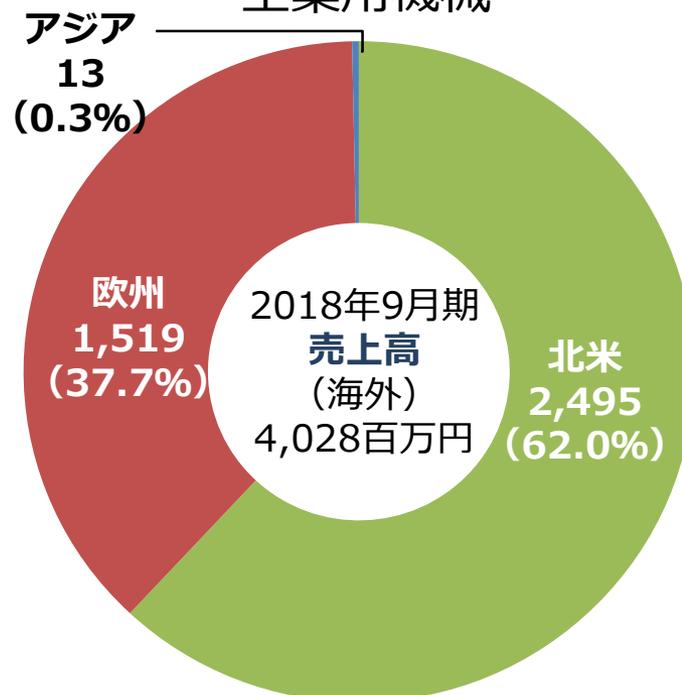
セグメント別売上高 (海外)

単位：百万円	2017年9月期		2018年9月期		
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	前期比
農林業用機械	4,589	58.4%	4,435	52.4%	△3.3%
工業用機械	3,264	41.6%	4,028	47.6%	23.4%

農林業用機械



工業用機械



本日はありがとうございました

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【I Rに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15

TEL : 03-3252-2271

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp